

ドイツ・ビュアシュタット市を訪問

金崎獅子舞団の演舞に

拍手喝采！

7月16日から24日まで、浅見洋議長を団長として、金崎獅子舞団の皆さん18人がドイツ・ビュアシュタット市を訪問。18日から21日までの4日間開催された体操祭へ参加し、日本の伝統文化である獅子舞を演じました。

参加された皆さんはホームステイで滞在し、ドイツの生活を肌で感じて学ぶとともに、ビュアシュタット市と皆野町との交流を深めました。

そんな有意義な体験の一部をご紹介します。



ドイツ体操祭に参加して

宮前 隼人^{はやと}くん

まずドイツへ行けた事は、この行事の関係者の方々のお陰だと感謝しています。

ドイツでの生活は日本とは違い、時間・食・建物といろいろな面で大変でした。

言葉の違いはとて大きく、言いたい事も伝わらず、もちろん相手の言いたい事もまったく分かりませんでした。

また、ホームステイでは、身体でドイツ人の生活を体験でき、ドイツの食物は3食すべてパン

食でした。ほとんど食べられないものはなく、とてもおいしかったです。

ドイツの人とサッカーもできよかったです。

体操祭では、広いステージでたくさんの方の観客の前で踊ったので、とても緊張しました。

本番の直前に踊りを変え、練習しました。とても大変でした。

ドイツ見学でも、ローレライ・ハイデルベルグ城など、たくさんの方の建物や景色も見られたので、いい経験になったと思います。

この経験をこれから無駄にしないように生活していきたいです。

次に機会があつたら、もう一度ドイツ・ビュアシュタット市にいてみたいです。そして、ステイ先の家族の皆さん大変お世話になりました。ありがとうございました。

ドイツビュアシュタット市 訪問報告

田中 卓^{たく}くん

まず、無事にドイツへと訪問できた事を協力して下さいました方々にお礼申し上げます。

ドイツのファミリーの方々もとても熱心にコミュニケーション

ンをとつてくれ、うち解けるのにあまり時間がかかりませんでした。

いろいろな世話をして下さいありがとうございました。

ドイツの町は、風景がとてもきれいで、日本ではみられないものがみられました。

食べ物も米食ではなく、パン食がほとんどで日本では味わえないような味を味わう事ができました。

観光では、船に乗ってライン川を下りました。そこからは、ローレライが見え、とても歴史を楽しみ事ができました。ほかにも様々なところに行き、ドイツそのものを楽しみ事ができました。

主旨である獅子舞も練習を思い出し、イキイキとおどる事ができました。

体操祭に参加していたほかの選手も日々きつい練習を繰り返して、この体操祭に望んだ事がアリアリと分かりました。

いろいろな事を体験できたこのドイツビュアシュタット市にはもう一度訪問してみたいです。

ドイツに行ってみて

桜井 紀輝^{かずき}くん

僕は7月16日にドイツに行きました。

なぜドイツに行くことになったかという点、地区でやっている獅子舞をドイツの人たちに見せるというのもあり、また、ドイツの人たちとの交流を深めようというのでドイツに行きました。

ドイツに行ってみると、まず始めに、たくさんの方が僕たちを歓迎してくれて、パンや飲み物などを出してくれました。その後、僕たちは、もともと人数を分けて、ドイツの家族の方々に泊めてもらう事になっていました。

僕も家族のかたの家に行き泊めてもらいました。

その日の夕食は、家族のかたが作ってくれたソーセージとパスタを出してくれました。ソーセージは、とても味が良く、流石ドイツだと思いました。

ふと時計を見てみると午後10時を指していました。外を見てみると、日本という夏の夕方ぐらい明るくてビックリしました。

この日、もう一つ気づいたのがドイツの人たちは、炭酸水が好きだという事でした。

日本という普通の水が売っていないのです。

コーラやファンタ、スプライトや炭酸水などしか売っていないのでビックリしました。

ドイツに来て4日目に、ドイツのホールで獅子舞をしました。獅子舞は見事成功し、ドイツ